



それいけ! 手洗い場 さよならバイバイキーン !

この令和元年もいよいよ12月を迎えます。振り返ってみると今年も非常に強い風を伴った台風が日本に上陸したり、今までに経験したことのないような大雨が降ったり、昨今の気候変動に伴うと思われる災害が数多く発生し、たくさんの方が亡くなりました。地球の平均気温が上昇するにつれて、熱帯や中緯度地域で大雨の降る頻度が増す可能性が非常に高いと指摘されています。さらにはそれに伴い、地球規模でのさまざまな感染症の拡大の可能性が危惧されています。

感染症とは、病原体が体の中に入り、症状が表れる病気のことをいいます。症状が出ていなくても感染している場合があるので、知らない間に自分が感染源となって周りの人に感染を拡げてしまっている可能性もあります。ですから集団で生活する学校園では自分が感染しないようにするというだけではなく、人にも感染させないためにどうしたらよいのかを考える必要があります。

私たちが感染する病原体の多くは、まず私たちの手に付きます。その手で鼻や口などの粘膜に触れると、その病原体が体内に入り込み、感染することになります。それでは、もし感染している人たちが病原体の付いた手でさまざまなものに触れるとどうなるでしょう。そうです、病原体を肉眼で見付けることができない私たちは知らない間に病原体のついたものに触れてしまうのです。このようにして感染が次から次へと広がっていくのです。というわけで、私たちは手をしっかりと洗うことで、手についた病原体が自分の体にはいつて来るのを防ぐだけでなく、周りの人に対して感染を拡げることを防ぐこともできるのです。正しい手洗いこそ、日々の生活の中でできる、とても簡単で有効な感染症防止対策なのです。

これから寒くなり、風邪やインフルエンザなどの感染症が増えてきます。ご説明してきましたように感染症の基本的な予防法としては、「手洗い」が最も有効なのですが、正しくできている人は今回の校内アンケートからもあまり多くはありませんでした。そもそも「手洗い」は手に付いたウイルスを洗い流すことで、感染を防ごうというものです。スーパーマーケットの入口や図書館などにアルコール消毒液が置いてあるのを見かけます。除菌効果があると言われていますが、アルコールだけではウイルスは完全に死滅しません。石鹸をよく泡立てて、30秒以上かけて「掌」だけではなく「手の甲」「つめ」「指の間」「手首」までしっかりと洗い、よく流すことが必要なのです。今回は、楽しい替え歌を歌いながら、正しく手洗いをする方法も紹介することになっています。



今年の「学校保健委員会」では、「それいけ! 手洗い場 さよならバイバイキーン!」をテーマに、手洗いの有効性やどんな風に洗えば病原体を取り除くことができるのかについて取り組んで来ました。どうして手洗いをしなければならないのか、どうすれば正しく手洗いができるのかという知識だけでなく、何より生活の中にしっかりと組み入れる実践力が身に付くような機会になればと思います。12月という大変お忙しい時期ではありますが、是非お越しいただき、子供たちの発表に耳を傾けていただければと思います。そしてご家庭でも正しい手洗いを習慣付ける機会を作っていただければ幸いです。

森澤 克行

★学校徴収金振替について ~今年度最終月のお知らせ~

今年度最終の学校徴収金の振替が1月に行われます。本振替は1月6日、再振替は1月27日になっております。それぞれの指定された口座からの引き落としです。残額をお確かめの上、未納がないようにご協力ください。尚、「月払い」「学期払い」「年払い」の指定によって、徴収金額が異なりますのでお気をつけください。

